

# ら い 来ぶらり 64

## カード・ファイルの残照 - 書誌検索今昔 -

整理課長 奥田 孝之

この夏休みにコンピュータ研修を受けていた時、インストラクターの方が「今の学生はタイプライターを知らない。知っているも、どんなことをする機器かという知識だけで、実物を見たことのない学生が多い」と述べ、教育・オフィス機器にしても高度情報化社会における世代の移り変わりの早さを語っていた。私にはそのインストラクターの方は20代後半かなという若さに見えたので、今の学生はという表現にはチョット驚いた。情報化社会の中では十年一昔の感である。もっと短いのかも知れない。

図書館2階の一角に、目録カードケースが置かれている。かなりのスペースを占めているからすぐ目につく。引き出しの数から計算すると約 932,000枚になる。だがはたして、この図書カードが資料検索のために用意されているものだと、今の学生はどのくらい分かっているだろう。知っているもどのくらいの人が利用しているだろうとタイプライターの話からそんな連想をした。1989年前後から図書カードの電算化、今で言うデジタル化が始まった。そして今現在はカードレスである。それまでは図書資料の検索手段は図書カードしかなく、カード主流で置き場にしても図書館2階フロアの半分以上にとり狭しと置かれていて、威風堂々の雰囲気があった。カードを作る catalogerにしても各図書館が独自性を持ち、伝統、気質を重んじて知力、労力を惜しまなかったが、デジタル化の大きな利便性はネットワークであるから、国の機関である『学術情報センター』を核にして、参加館は総合目録データベースを形成すると同時に自館の蔵書目録データベースの構築もする。そのため、独自性ではなく、統一性が求められ、よかれあしかれ、標準化、画一化される。では今何故まだ図書カードが残存するのですが、1989年以前のデジタル化されていない資料があるからです。それらの書誌データを遡って入力する計画が、本院情報化推進委員会の事業の一環として、全学所蔵図書目録データ遡及5カ年計画事業が平成9年に始まり、本年で3年目を迎え、あと2年で終結します。そうなればほぼ完全にカード・ファイル検索の世代からデジタル・ファイル検索の世代に移り変わり、カードケースも姿を消してしまうでしょう。それまではある世代の層には一つの世代の遺産としての残照をまだ覚えます。

ある図書館関係者の講演会で、講師が進化という言葉は生物界では少なくとも500年位を最小単位で使うが、いま図書館は進化の時であると言っていた。図書館は脱ハウス型になるかも知れないと述べていた。ここ数年の不況で、銀行支店の無人化をあちこちで目にする。情報のデジタル化により、自動機器、ロボットが闊歩して、図書館の無人化にも及ぶかも知れない。それが進化と言えるかどうか分かりませんが・・・。

# 日文科の「合巻」

日本語日本文学科助手 加藤 次直

次の単語を読むことができますか？

「雷太郎強悪物語」

「修紫田舎源氏」

「合巻」



答えは1「いかずちたろうごうあくものがたり」  
2「にせむらさきいなかげんじ」3「ごうかん」  
です。できましたか？

それでは次の問題です。これはちょっと難しいですよ。

「合巻」について説明しなさい。

その際に必ず1「草双紙」2「敵討物」3「雷太郎強悪物語」4「修紫田舎源氏」5「歌川豊国」の語を使用すること。

高校時代にたしか文学史でそんなこと習った記憶はあるんだけどなと思っている方が多いのではないのでしょうか。また江戸時代の文学史ってそういえばとばされちゃったからわからないやという方もいると思います。

「合巻」を実際に手にしてみませんか。すると和本の軽さと表紙の美しさに驚くと思います。そして上巻、中巻、下巻とならべてみると、その表紙の絵がつながって、ひとつづきの絵になることもびっくりすると思います。また、1ページめくると、見開きで大きく描かれた

絵のまわりが真っ黒にぐねぐねした文字で埋まっています。いったい何が書いてあるのかなと思うかも知れません。読み慣れた現代の本を手にするのとは違う驚きがここにはあります。

平成9年度文部省研究設備施設費により、58点にわたる合巻コレクションを大屋書房より購入しました。その結果、日文科には102点の「合巻」のコレクションがあります。

江戸時代の文化に触れてみませんか。

2問目の問題の答えは？って...。もうスペースがありませんので、自分で調べてみてくださいね。「合巻」「草双紙ごうかん」「読本よみほん」...調べることで興味も広がっていきますよ。

貴重書の利用は特別の許可願いが必要です。



## ちょっと書庫まで I N タビュー 《第 7 回》



### 数学科図書室を訪ねました



Q1 . 数学科図書室の蔵書について教えてください。

洋書：約35,000冊、和書：約4,400冊です。洋書については、研究の核となる雑誌（継続受入：200誌、バックナンバー69誌）シリーズ（継続受入：212誌、バックナンバー：52誌）がほぼ揃っています。和書は、古典から演習問題解説書まで幅広く収集しています。また、数学史関係の本も洋書・和書ともに充実しています。

Q2 . その他に何か特色がありますか。

数学分野のレファレンスツールとして必須の、“MathSci Disc”（CD-ROM検索）、そして“MathSci Net”（ネット検索）をご利用いただけます。

\* “MathSci”（マスサイ）：「Mathematical Reviews」・「Current Mathematical Publications」のデータベース（アメリカ数学会）。

Q3 . コンピュータ関連の書籍はありますか。

いわゆるマニュアルのたぐいは置いていません。が、本年度より情報誌として「月刊アスキー」「月刊C MAGAZINE」「Linux magazine」「MAC POWER」「Software Design」「UNIX USER」の購読を始めました。

Q4 . 最近の話題がありますか。

今、数学書が売られています。シリーズもの、実用書をはじめ、一般書では「数の悪魔」（H.M. エンツェンスベルガー著、晶文社、1998年）がベストセラーになりました（「朝日新聞」1998.11.29）。また、「フェルマー予想」の解決に部分的に使われ、その重要性が再認識された「谷村 - 志村予想」が全面的に証明されたいと発表されました（「東京新聞」1999.7.19）。数学科図書室には、「未解決問題集」といった本もあります。あなたも難問に挑戦してみませんか。

\* 「フェルマー予想」：350年程前、フランスの数学者ピエール・ド・フェルマーがディオファントスの書物「算術」の余白に証明無しに書き残した命題。1994年、A.ワイルズによってついに証明が与えられた。



Q5 . 最後にひとこと・・・。

微分、積分、いい気分 コンビニエントなライブラリーです。「数学」というだけで敬遠せず、他学部・他学科の方もお気軽にお立ち寄りください。

数 学 科 図 書 室



## 赤帽その後…



目白の大学図書館と戸山の女子大学図書館をFAXで結んで、赤帽の便で相互に本を届ける新しいサービスが始まり、半年が過ぎようとしています。当初は小さなトラブルもいくつかありましたが、女子大学の図書の貸出・返却・更新・予約が1階カウンターでできるとあって、順調に利用件数を伸ばしています。実際は目白から戸山へ申し込む件数が圧倒的で、ことに女子学生にはとてもご好評をいただいています。これまで33往復し、1回平均で約25冊づつ運びました。たいへん便利なシステムですので皆様もどうぞご利用ください。

(運用課/中島亜子)

(1999.4.20-8.31)

利用状況	和図書	洋図書	合計
申込件数	588件	36件	624件
申込冊数	601冊	36冊	637冊

美術を研究している在校生や卒業生の方々が来館され、各種の美術書の請求に応じ、書庫からご要望の書籍探しのお手伝いをする折にふれ、走馬燈のごとく思い起こすことがあります。前職時、国際会議の参加や技術打ち合わせで、世界各地を訪れた際、各国の歴史的文化遺産や美術品を見学する機会に恵まれました。中国の故宮博物館、兵馬俑。韓国の古都遺跡。タイの金色寺。イランのイスラム文化。イラクのバビロン。スペインのトレード古城。ローマの古代美。大英博物館。パリやオランダの西洋絵画などの秀れた芸術品に啓蒙されて、人生の視野が広がり感動しました。図書館では古今東西の本の力で時空を越えた世界に入り込むことができ、旅行的感覚で楽しめます。OPAC端末の前に座ると、7年前、台北の図書館で父の遺作品

「意思あれば道あり

永遠の美で

人生を豊かに」

夜の図書館

ひとりごと…

シリーズ③

派遣職員 加藤 眞彦



の台湾日日新報の文芸記事を検索したことを思い出します。まず査証を提出し入館許可を得て、検索機の選択キー操作で連続画面で探し、自動複写でき、昭和10年の父の優奇世<sup>うきよえ</sup>絵展が台湾で空前の版画展となった特筆記事を入手し感激でした。また国会図書館等を利用し、作品画題の物語性の背景を古典書から分析ができ、弥生美術館の橋小夢回顧展(1993)の解説書作成に役立った利便性を実感しました。

皆様が本図書館の豊富な所蔵資料を有効に活用され、人生をより豊かにするよう願います。



図書館では夜のカウンター業務を派遣職員の方に応援していただいています。

来ぶらり No.64 1999年10月1日発行

発行責任者：小谷正博 編集委員：霧島浩一 八木橋理智子

学習院大学図書館 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 ☎03-3986-0221